
シャワー室で

泉みのる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シャワー室で

【Zコード】

Z8919C

【作者名】

泉みのる

【あらすじ】

シャワー室に彼女が入ってきて・・・

私がシャワーを浴びていると、裸になつた女性が扉を開けて入ってきた。

不意に入つてこられたのでドキッとしたが、裸の女性は彼女であった。

彼女とは大学で友達から紹介されて知り合つた。第一印象から好みの女性で無かつたのだが、不思議と深い関係になつていた。

「どうしたの。」

と声をかけた。普段はこんなことをしないので、私の声は少しひこちなかつた。

彼女は、少し笑顔を浮かべ私に近づいてきた。そして、そのまま唇を重ねてた。

いつもしているはずなのに、なぜだかいつもと違う感じであつた。頭の中で何かが破裂し、熱いものがじんわりと広がつていくのを感じた。全身の血管が拡張し体温が上昇していく。興奮しているのがはつきりとわかる。

快感に身を浸し、酔いがまわる。

彼女が唇をそつと離す。

もつとしていたかったが、私は、すでに頭が熱くなつて何も考えることができなくなつっていた。そのままボーッとした状態で彼女を見ていると、どうにかなりそうだった。

小さめの口、少しつりあがつた目、すつととおつた鼻、きれいに整えられた眉。

女性特有の丸みがあり、華奢な体。流れのような髪。

彼女を構成するその一つ一つが美しく、そしてひとおしく感じる。いつそ食べてしまいたい。

彼女のすべてを取り込んで自分の中にしまいくんでしまいたい欲求が溢れる。

そして、私は彼女の首に手を回しキスをした。
これが、私から求めた最初のキスだった。

(後書き)

最初なので、とつあんずやつてみた感じです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8919c/>

シャワー室で

2010年11月27日16時03分発行